

大浜てらまちウォーキング出店者・協賛募集

問 大浜にぎわいづくり実行委員会 ☎ 95-9894

大浜てらまちウォーキング

時 10月20日(日) 9時30分～15時(予定) 所 名鉄碧南駅以西 大浜てらまち地区



協賛募集

大浜てらまちウォーキングを一層盛り上げるために、皆さんから協賛を募集します。

▼パンフレット広告掲載の協賛

¥ 10,000円～70,000円 募集数 18枠

他 パンフレットは片面A4サイズ。金額に応じて枠のサイズが異なります。

▼ブース出店の協賛

人が集まる飲食スペースなどに、出店しませんか？

- ①大浜陣屋広場(縁日の開催) 50,000円
- ②小進庵西駐車場(飲食スペースの管理・運営) 70,000円
- ③林泉寺東側駐車場(飲食スペースの管理・運営) 100,000円

※いずれも自社製品の販売は可能です。



出店者募集

▼キッチンカー

1区画 幅3.6m×奥行5.4m

募集数 全13区画

¥ 北区画…15,000円、南区画…7,000円

▼てらまちマーケット

所 A: 大浜まちかどサロン前～湊橋

B: いそ忠～称名寺付近

1区画 幅2.5m×奥行2.5m

募集数 A: 37区画、B: 23区画

¥ A: 2,500円、B: 1,000円



【全共通】 申 6月3日(月)9時～18日(火)17時に
ホームページの専用フォーム



西方寺の太鼓堂
(令和4年撮影)

No.109 碧南の寺を巡る(2)
寺の中に学校ができた その一
明治の宗教哲学者清澤満之ゆかりの寺として有名な浜寺町の西方寺には、建物と楼が一体となった「太鼓堂」があります。幕末の文久三年(一八六三)に山門脇の太鼓楼が建て替えられた際、場所と構造を変えて現在の姿になりました。ここに明治四年二月二〇日(新暦一八七一年四月九日)、「新民序」が開校しました。「新民序」とは、明治三年(一八七〇)秋に着任した菊間藩(明治維新により藩主水野侯は沼津から現在の千葉県内の菊間に移転させられた)大浜出張所の少参事服部純が主導して作られた学校です。三河の菊間藩管轄内における上級学校が「新民序」で、初等学校に相当するのは各村で運営すべき「新民塾」です。行政予算がない中で、新民塾の多くは地元有志と僧侶が協力し、寺などの施設を借りて開きました。

現在の大浜地区では、林泉寺(本郷町)に上新民塾、称名寺(築山町)に下新民塾が置かれました。しかし、学校という新しい組織には多くの村民の戸惑いがあったようです。廃藩置県の後、明治五年(一八七二)に学制頒布があり、碧南市域ではその年の内に多くの郷学校(小学校)が開校しました。現在の大浜地区だけでも新民序が大浜郷学校となり、林泉寺と称名寺の新民塾が大浜郷学校支校となりました。「大浜郷学校便覧表」(明治五～六年)には、学校の場所が西方寺境内「西方寺献堂」とあり、太鼓堂を一時寄付したと推測されます。また、寄宿規則も記載されていて、寄宿料が「一人一昼夜米五合菜資一錢六厘六毛六六」とあります。生徒総数は二四一名、別の資料から、寄宿生は一〇名程いたことがわかっています。

校名変更がたびたびあり、大浜郷学校は、明治六年八月に「第五十六番小学新民学校」、明治九年(一八七六)に「中大浜学校」、明治一五年(一八八二)に「第五十四小学区第五十七番小学大浜学校」となりました。

上地区は早期に民家に移りましたが、下地区の称名寺とともに明治二〇年(一八八七)に上・中・下の三校が合併して「大浜尋常小学校」となるまで、学校教育は寺の協力の上に成り立っていました。

碧南の歴史へのいざない

問 文化財課内市史資料調査室 ☎ 41-4566